

6 市立図書館における子ども読書活動の推進

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
124	図書館バリアフリー宣言	だれもが使ってみようと思う、そして使いやすい図書館をめざして、図書館のバリアフリー宣言をし、様々な場面でPRする。 〔108にも掲載しています。〕					実施	館内でバリアフリー宣言「図書館へようこそ」のポスターを表示し、ホームページでの掲示を行っている。職員の中には名刺に印刷することで広く周知をはかっているものもある。	市立図書館
125	読書相談とレファレンスサービスの充実	子どもが読みたい本や知りたいたいことを見つけられるよう取り組みを充実する。					実施	子どもたちが職員に声をかけやすいよう、カウンターから外に出て声かけをするなど、積極的にフロアワークを行っているが、最近は読み聞かせや本に興味を持ち始めた子どもに対してどのような本をすすめたらよいかといった、大人・保護者からの読書相談が増えている。今後、これらの要求に応えられるようなリスト作成等の検討も必要か。	市立図書館
126	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読みあう楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。4か月児健診時、市内3カ所の会場で行う。絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等を配布する。また健診未受診者へ「えほんはじめまして」の資料を配布するなど、状況に応じて働きかけを行う。 〔22にも掲載しています。〕	受診者数 受診率	受診者数3,292人・受診率96%	受診者数3,275人 受診率95.1%	受診者数3,370人 受診率94.9%	受診者数3,348人 受診率94.3%	4か月児健診は3カ所の保健センターの実施となった。応援体制を密にし、図書館や子ども文庫の場所を説明するための地図を作成するなど内容の充実に努め、コーナーの周知方法も検討してきた。健診当日の流れはスムーズで、絵本を通じて、その様子を保護者と共有することで、絵本の楽しさを知る機会となっている。後日、乳幼児向けおはなし会への参加など図書館利用にもつながっている。	〇市立図書館健康支援室 豊中子ども文庫連絡会
127	乳幼児向けおはなし会	「えほんはじめまして」の取り組みをフォローするものとして、乳幼児と保護者が楽しみながら、わらべうたや絵本にふれる機会をつくる。	実施回数 参加人数	赤ちゃん対象のおはなし会、9館中3館で66回のべ1,374人。赤ちゃん専用スペースの設置、9館中2館で実施。「すくすく赤ちゃんタイム」9館中3館で実施計58組の親子	「すくすく赤ちゃんタイム」5館163人	0歳から参加できるおはなし会205回4,192人、赤ちゃん専用スペース22回524人、「すくすく赤ちゃんタイム」7回197人、「すくすくおはなしタイム」7回180人。(番外編1回77人)	0歳から参加できるおはなし会207回4,320人、赤ちゃん専用スペース17回257人、「すくすく赤ちゃんタイム」8回219人、「すくすくおはなしタイム」8回307人	平成21(2009)年度、0歳から参加できるおはなし会を実施する館が6館から7館になった。健康支援室や保育課との連携もとりながら取り組みを進めている。今後とも必要な研修を継続して実施していく。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
128	おはなし会	子どもが絵本やおはなしの楽しさを知ることができるよう、図書館でおはなし会を定期的に行う。	参加人数	のべ 16,135人	のべ 16,478人	のべ 16,876人	のべ 15,375人	おはなしボランティアと連携しながら、各図書館および図書室で定期的を実施しており、子どもの年齢を細分化するなど、内容の充実につとめている。H21(2009)年度の参加人数の減少は新型コロナウイルスの影響が考えられる。	○市立図書館 おはなしボランティアグループ
129	「えほんにたち」	「えほんはじめまして」の取り組みをフォローするものとして、経験豊かな講師を迎え、0歳前半と後半などの発達段階に分け、親子で一緒に楽しみながら、読書の大切さを感じる取り組みを図書館などで行う。	実施回数 参加人数	3館で計 6回実施、92組参加	4館で計 8回実施、162人	4館で計 8回実施、143人	3館で計 6回実施 160人	図書館での定例の赤ちゃん向けおはなし会が年々定着してきているが、この事業に対する参加者の反響が大きく、職員の研修も兼ねていることから引き続き次年度も実施予定。	市立図書館
130	絵本講座の開催	子育て支援の講座のなかで、親子が一緒に楽しみながら読書の大切さを感じる取り組みを、関係機関・団体と連携して行う。 〔1、9、25、102をご参照ください。〕	実施回数 参加人数	40回実施。 1,419人参加	36回 1,433人	52回 1,863人	48回 1,818人	今年度も子育て支援センターや社会協議福祉会を通じて子育てサロン・サークルからの依頼があった。各図書館で主に子ども室担当者が出向いて、絵本についてのお話や絵本の読み聞かせなどを行った	○市立図書館 関係機関・団体
131	情報検索の講習会	子どもを対象とした図書館の情報検索について講習会を行う。	回数	1回	1回		1回	小学校1校で図書館のHPの説明を実施した。	市立図書館
132	「子どもと本のまつり」 「子どもと本のつどい」	子どもが絵本の読み聞かせやおはなし、手づくり遊びなどを楽しむ「子どもと本のまつり」や、子どもや子どもの本・読書に関わっている講師を招いての講演会や子ども向けのワークショップなどを行う「子どもと本のつどい」を豊子連と共催。 〔15をご参照ください。〕	実施回数 参加人数	「子どもと本のまつり」157人、「子どもと本のつどい」3回256人	「子どもと本のまつり」239人、大人82人、「子どもと本のつどい」3回、206人	子どもと本のまつり（子ども175人、大人77人）、子どもと本のつどい（2回、729人）	子どもと本のまつり（子ども189人、大人88人）、子どもと本のつどい（2回425人）	「子どもと本のまつり」では「(特活)国際交流の会とよなかTIFA」と「おはなしボランティアポケット」の協力を得て、おはなし会と工作教室を行った。「子どもと本のつどい」では、1回目は食育・料理研究家の坂本廣子さんの講演会「食育子育てのすすめ」、2回目は生きものの写真家の松橋利光さんの講演会「写真絵本『いきもの絵につき』ができるまで」とワークショップ「もってみよう！～ちいさなてのひらずかん」、同時に写真展「白バック写真動物園」を開催した。	市立図書館 豊中子ども文庫連 絡会（豊子連）
133	伝承遊びの場づくり	地域の大人による、伝承遊びや昔語りの場を提供する。			「むかしあそびつくってあそぼう」（子ども32人、大人13人）	「むかしあそびつくってあそぼう」（子ども31人、大人16人、千里「コラボまつり・紙芝居」子ども15人、大人12人）	東豊中「むかしあそびつくってあそぼう」子ども31人、大人16人、千里「コラボまつり・紙芝居」子ども15人、大人12人	東豊中図書館では「むかしあそびつくってあそぼう」ではふれあいネットワークさんの協力を得て、子ども達が地域の人たちとともに世代を越えて手作りおもちゃを一緒に作り、遊んだ。また千里図書館では「コラボまつり・紙芝居」では豊中紙芝居の会の皆さんの協力を得て、子どもたちが豊中の昔話を聞く場を提供した。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	指標	1 8 年 度	1 9 年 度	2 0 年 度	21年度実績		関係部 局・団体
							実績	実施状況と課題	
134	子ども対象の催し	折り紙や手作り工作をはじめとした地域子ども教室など、子ども向けに行っている行事を充実し、子どもと本をつなぐ機会とする。	実施回数 参加人数	地域子ども教室2館132回実施参加1,383人。子ども向け映画会4館15回実施参加572人。手づくり工作や人形劇などの子ども向け行事6館91回実施参加2,118人。	地域子ども教室3館116回実施、参加2,430人。子ども向け映画会4館60回実施、1,077人参加。手づくり工作など子ども向け行事4館、15回実施、464人。	地域こども教室3館96回実施、参加2,020人。子ども映画会4館52回、672人、手づくり工作など子ども向け行事5館64回、1,332人	地域こども教室3館60回1,187人。おりがみ教室工作など6館27回674人、こども映画会3館51回1,101人「電車がつなぐひととまち」1回191人	来館のきっかけづくりとして、また本につながる行事として工作やおりがみ教室を実施した。地域のボランティアと子どもが交流する場ともなっている。また蛸池図書館では鉄道のお話と読み聞かせ、鉄道模型の運転体験などの「電車がつなぐひととまち」を実施した。	市立図書館
135	「おはなし指導者派遣事業」	豊中おはなしの会の協力を得て、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 〔58、83、100にも掲載しています。〕	おはなし会の回数 参加人数	8カ所で10回開催1,022人	8カ所で9回開催984人	7カ所で9回開催661人	4カ所で8回開催365人	民間保育園1園、支援学校1校(4回開催)、障害児通園施設2園でおはなし会を行った。	市立図書館 子ども文庫・おはなしグループ
136	保育所(園)・幼稚園訪問	保育所(園)、幼稚園に出かけて、おはなし会や図書館の使い方の説明を行い、絵本やおはなしの楽しさを伝える。 〔60にも掲載しています。〕	実施所(園)数	11園	8園	12園	17園	子どもたちは日ごろから絵本や紙芝居などに親しんでおり、図書館についてもよく知っている。園によっては0・1歳児が参加することもある。当日に読んだ絵本などは団体貸出をして、園で活用してもらうようにしている。	〇市立図書館 保育所(園) 幼稚園
137	「ようこそ図書館へ」	主に小学校3年生を対象として、小学校へ図書館見学を呼びかけて実施する。	実施校数	39校	39校	41校	37校	子どもたちが、地域の図書館に来て、より図書館を身近に感じてもらう事によって、来館につながる大事な機会となる為、継続して行う必要がある。	〇市立図書館 小学校
138	講座の開催	保護者や子どものまわりにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を行う。〔74をご参照ください。〕	回数 参加人数	「子どもと本のつどい」3回256人、私立幼稚園での保護者向け絵本講座5回100人	「子どもと本のつどい」3回206人、私立幼稚園での保護者向け絵本講座6回184人、「私立幼稚園教諭向け絵本講座」2回100人	「子どもと本のつどい」2回729人、民間保育園での保護者向け絵本講座2回29人、「私立幼稚園教諭向け絵本講座」1回27人	「子どもと本のつどい」2回425人、民間保育園での保護者向け絵本講座1回13人、「私立幼稚園教諭・民間保育園(園)保育士向け絵本講座」3回69人	「子どもと本のつどい」では今年度食育についての講演会を行った。昨年度まで私立幼稚園教諭対象で開催してきた絵本講座の参加呼びかけを今年度より民間保育所(園)へも広げた。	市立図書館
139	ブックリスト	本の紹介リストを作成する。					実施	赤ちゃんむけ絵本の紹介冊子(「えほんはじめまして」で配布)を一部改訂した。千里図書館ではYA(ヤングアダルト)向けリーフレットを作成し、テーマを設けてYA向けの本を紹介した。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
140	ホームページの充実	図書館の子ども向けホームページをより使いやすいものにする。					実施	現在、子ども向けのホームページには、催しや利用案内、教科書に載っている本等、興味のひくような内容で構成しているが、保護者に向けて、赤ちゃん絵本のリスト等、対象を絞った本のリストも視野に、検討していく必要がある。システムリプレイスの際にHPにたかいよしかずさんのイラストを使わせていただくことになり親しみやすいデザインとなった。	市立図書館
141	家庭への情報提供	図書館のホームページやケーブルテレビで本の紹介などを行う。 〔6、109にも掲載しています。〕					実施	HPで本を紹介するリストなどを掲載しているが、定期的なコンテンツの更新まではできていない。またケーブルテレビでの本の紹介については未実施。また図書館のメールマガジンでは新着図書の情報を定期的に配信している。	市立図書館
142	新1年生へのPR	「新1年生ビラ」を小学校を通じて新1年生に配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 〔5にも掲載しています。〕	配布枚数	3,756(H18年度の全小学校の1年生総数)	3,733枚	3,490枚	3,451枚	図書館のPRおよび、利用促進のよい機会となっているが、内容やPR方法等、今後、検討していく必要もある。	市立図書館
143	情報検索のリーフレット	子どもを対象とした図書館の情報検索のリーフレットを作成する。					未実施	市立図書館の蔵書検索について、学校での情報検索の講習会は実施しているが、リーフレットの作成については取り組むことができていない。	市立図書館
144	教職員向け利用案内	教職員向けの図書館利用案内を作成する。					中止		○市立図書館義務教育課 小中学校
145	中学・高校生へのPR	市内の中学校、高校に利用案内やポスターを配布する。	配布枚数	市内の全中学校と高校	全中学校・高校1校	全中学校・高校1校	蛭池・中学2校、高校1校、岡町と野畑で高校1校	豊中高校2年生の家庭科の授業で絵本講座を実施し岡町図書館と野畑図書館の職員で講師を務めた。その際に利用案内と「YA! BOOKS通信」を2年生全員に配布した。	市立図書館
146	市立図書館の資料の充実	図書館が子どもや子どもの本に関する情報を収集して資料を選書し、児童書の蔵書をさらに充実したものとする。	児童書の受け入れ冊数	15,868冊	15,065冊	16,651冊	15,603冊	こども室担当者が担当者連絡会などで本の情報などを共有し、選書委員会と連携しながら児童書の蔵書の充実をはかっている。	市立図書館
147	はじめてであう絵本のコーナー	子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置する。	コーナー設置数	すべての図書館(9館)	すべての図書館(9館)	すべての図書館(9館)	すべての図書館(9館)	すべての図書館に子どもがはじめて出会う絵本を集めたコーナーを設置している。コーナーでは絵本のほかに地域の情報や子育て情報(サロン、サークルのマップなど)を設置し、情報提供を行っている。	市立図書館
148	子育て支援	子どもの本とともに子育てに関する資料や情報を提供し、図書館が子育て支援の場のひとつとなるよう環境整備を行う。					実施	赤ちゃんと保護者を対象にした行事や「はじめて出会う絵本」のコーナーに、チラシや子育てに関する資料を展示している。子ども室に子育てに関する資料のコーナーを設けている図書館もある。全ての図書館で希望者には授乳スペースを確保している。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
149	ティーン向けの資料の充実	ティーン向けの本のコーナーを設置する。					実施	千里図書館でコーナーを設置し、通信を発行するなど、取り組みを進めている。また他の図書館での取り組みについても、学校図書館や高校と連携しながら資料の充実を目指すことが課題となる。	市立図書館
150	資料の充実	図書館が通園施設や支援学校の教職員とともに、施設で活用される資料の情報交換を行い、障害のある子どもにとって有効な資料を研究し、選書の際の参考にする。 [113にも掲載しています。]	施設数	2カ所	支援学校2校、通園施設園	支援学校2校、通園施設2園	支援学校2校、通園施設2園	施設や学校で活用される資料の、要望やニーズについて巡回時に情報交換している。そして動く図書館に積み込む資料に反映して、施設や学校の読書環境の整備につとめている。施設の職員や保護者と直接交流の場を持つことが課題だが、今年度もできなかった。利用案内等は年度初めに配布、担当の職員の方には口頭でも説明している。	○市立図書館通園施設支援学校
151	外国語資料の充実	関係団体と連携・協力し、外国人市民の意見やニーズを把握しながら、外国語資料を購入や寄贈本を受け入れることによって蔵書を充実する。また岡町図書館の「世界のこどもの本の部屋」をより利用しやすいものにする。 [111にも掲載しています。]	購入冊数 所蔵冊数	児童書95冊・ 児童書7,247冊	148冊、 8,456冊	95冊、 8,851冊	85冊 8,595冊	定期的に外国語資料を購入するとともに、ホームページで外国語絵本の寄贈を募り、蔵書の充実に努めた。	市立図書館
152	外国語資料の検索システムの整備	英語以外の外国語資料について、蔵書検索ができるように研究を行う。 [114にも掲載しています。]					一部実施	とよなか国際交流協会との連携により、世界のこどもの本の部屋に所蔵する言語別絵本リストを作成した。リストのデータにより、蔵書のデータ化を行うことが今後の課題となる。	市立図書館
153	動く図書館の巡回	動く図書館が通園施設や支援学校、保育所を巡回して、子どもや教職員が直接選んだ資料を貸出しする。 [112をご参照ください。]	動く図書館で巡回している施設数 貸出冊数	保育所6カ所、 養護学校2校、 通園施設2園、 16,679冊	保育所6カ所、 支援学校2校、 通園施設2園、 14,649冊	保育所5カ所、 支援学校2校、 通園施設2園、 9,427冊	保育所6カ所、 支援学校2校、 通園施設2園、 15,925冊	約4週間に1回、各施設を巡回して貸出を実施している。動く図書館に資料をのせて各施設に乗り入れることで、図書館から距離があるなど様々な理由で来館が困難な子どもたちが、たくさんの資料の中から自分のお気に入りの本を選び、本に親しむ機会となっている。平成21(2009)年度は、昨年度の訪問調査の結果をふまえ、新たに1カ所民間保育所への施設巡回を開始した。	市立図書館
154	団体貸出	子ども文庫、保育所(園)や幼稚園、人権まちづくりセンターなどへ団体貸出を行う。 [15、45、67、112をご参照ください。]	団体貸出冊数	子ども文庫4,796冊、 保育所25,180冊、 幼稚園1,422冊、 人権まちづくりセンター1,669冊	子ども文庫4,286冊、 保育所24,300冊、 幼稚園2,134冊、 人権まちづくりセンター1,710冊、 おはなしボランティアグループ10,872冊	子ども文庫5,454冊、 保育所23,408冊、 幼稚園1,986冊、 人権まちづくりセンター1,767冊、 おはなしボランティアグループ9,246冊	子ども文庫5,930冊、 保育所27,426冊、 幼稚園2,645冊、 人権まちづくりセンター11,149冊	子ども文庫や学校、放課後子どもクラブ、保育所(園)、幼稚園及び自主的な活動グループで10人以上の利用者を有する団体に資料の団体貸出を行っている。貸出期間や冊数は利用団体の種別ごとに定められており、図書館では選書の補助や、必要に応じて配本などを実施している。岡町図書館団体貸出担当では今年度は新たに保育所(園)2カ所から長期で絵本を貸してほしいという申し込みがあった。	市立図書館
155	放課後子どもクラブへの貸出しと配本	放課後子どもクラブへ絵本や紙芝居などを選書し、定期的に貸出・配本する。平成18年3月現在32ヶ所で実施。 [45をご参照ください。]	放課後子どもクラブ	32校、 11,028冊	36校、 11,826冊	39校、 11,534冊	40校、 12,721冊	平成21(2009)年度は配本実施校が1校増えて40校となった。うち1校は夏休み期間中のみの配本。これ以外はおおよそ4か月に1度、本の入れ替えをするために配本している。	○市立図書館子育て支援課

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
156	学校図書館との連携・支援	市立図書館職員と学校司書が日常的に子どもや子どもの本に関する情報を共有する。その中で学校図書館への団体貸出や調べもの、リクエストなどの支援を充実する。また市立図書館の行事においても両者が連携し、内容の充実を図る。					実施	市立図書館で行う様々な行事について、ポスター掲示やチラシ配布などを通して、PRに連携、協力していただいている。野畑、蛸池、千里、東豊中図書館では、小中学校の生徒のおすすめ本を紹介したものを展示し、親子での来館につながった。また、庄内図書館では、小学校と連携して、スタンプラリーを実施した。	○市立図書館 義務教育課 小・中学校
157	学校・市立図書館連絡会	学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を設ける。 〔90にも掲載しています。〕	会合回数	8回 (8館×1回)	10回(8館×1回+1回+1回)	9回(8館×1回+1回)	10回(8館×1回+1回+1回)	義務教育課を通じて、市立図書館の司書と担当する地域の小・中学校の学校司書と交流会を持った。また毎年、新任学校司書向けに、市立図書館司書による研修を実施している。さらに、学校図書館連絡会中学部会と市立図書館との交流会も実施し、中学生の読書について、情報交換を行った。	義務教育課 市立図書館
158	小児科などの医院との連携	地域の小児科などの医院と、子どもと子どもの読書に関する情報交流を行う。 〔2をご参照ください。〕					未実施	実施に向けた調整が必要である。	市立図書館
159	おはなしボランティア活動への支援	地域や図書館、学校で活動するボランティアに対して図書資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 〔16にも掲載しています。〕	貸出冊数 ボランティア支援講座の回数 参加人数	おはなしボランティアグループへの貸出9,352冊、ボランティア講座受講者への貸出658冊、ボランティア講座11回268人、フォローアップ研修講座2回89人	おはなしボランティアグループへの貸出10,872冊、ボランティア講座8回のべ99人、フォローアップ研修講座2回115人	9,246冊、ボランティア講座6回のべ204人、フォローアップ研修講座2回103人	11,149冊、ボランティア講座6回のべ192人、フォローアップ研修2回114人	平成20(2008)年度に引き続き「子どもと本をつなぐボランティア講座」を行った。H21(2009)年度は全6回の連続講座を行った。また、市内で読み聞かせの活動を行っているボランティアを対象に「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」を2回実施した。今後とも講座開催など、継続した情報提供を行うことが必要である。	市立図書館
160	紙芝居ボランティア「紙芝居すきやねん」	市立図書館や地域の公共施設が地域のおはなしボランティアと連携し、小学生・中学生・高校生のおはなしボランティア活動を支援し、活動の場を提供する。 〔17、72、91をご参照ください。〕	実施回数	14回	12回	16回(高川10回、庄内6回)	15回(庄内3回、高川12回)	中学生・高校生・大学生ボランティアによる幼児向け紙芝居会を毎月1回実施している。また、ボランティア参加者を募集する意味で今年度も担当地域の中学校の学校司書と連携し、ボランティアと職員が出向いて紙芝居の上演や、読み聞かせのアドバイスをを行った。この訪問がきっかけとなり夏休みに小中連携の一環として中学生による地域の小学生への紙芝居の読み聞かせが行われ好評だったとの事。来年度もこの読み聞かせは継続して行われる。	○市立図書館 おはなしボランティア ポケット関係施設

No.	事業名	事業内容	指標	18年度	19年度	20年度	21年度実績		関係部局・団体
							実績	実施状況と課題	
161	パネル展	子ども読書に関わる市民・関係団体の活動を紹介するパネル展を行う。	実施回数 参加団体数	1回 （「子どもと本のまつり」）	3回	4回	4回	「子どもと本をつなぐ地域交流会」では会場内で各団体や施設のポスターを掲示した。また北部の地域交流会では参加者の声より、交流会終了後も蛍池図書館で掲示することになった。	市立図書館
162	教職員への取り組み	夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学会や図書館・図書館資料の効果的な活用を提案する。 〔94をご参照ください。〕					1回	義務教育課の主催で、司書教諭を対象に市立図書館と学校図書館の連携などについて講座を実施した。また同日図書館見学も実施した。	〇市立図書館 義務教育課 小中学校
163	情報交流と研修	図書館や関係機関等で行う講座や研修の情報を共有し、学習の機会を広げる。 〔76、123をご参照ください。〕	研修回数 参加人数	1回36人	1回、39人		3回	豊中市教育振興計画策定に際し、教育委員会が中心となって研修を実施した。図書館や公民館の職員などが参加した。	市立図書館 関係施設
164	図書館職員研修	図書館の児童サービスに関する研修を充実する。 〔54をご参照ください。〕	研修回数	ボランティア講座11回、フォローアップ研修講座2回、「子どもと本のつどい」3回、「太子連児童文化講座」9回	ボランティア講座8回、フォローアップ研修講座2回、「子どもと本のつどい」3回実施、「太子連児童文化講座」9回	ボランティア講座6回、フォローアップ研修講座2回、「子どもと本のつどい」2回、「太子連児童文化講座」9回	ボランティア講座6回、フォローアップ研修講座2回、「子どもと本のつどい」2回、「太子連児童文化講座」9回、その他「児童奉仕実務研修」など3回	大阪府子ども文庫連絡会や大阪府立中央図書館などが主催する研修に参加した。府立中央では児童サービス担当者の交流会もあり、豊中の児童サービスの取り組みを発表した。また研修参加後の記録やレジメの回覧などで情報共有につとめた。	市立図書館